

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成29年1月10日

協議会名:松江市公共交通利用促進市民会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画等の 計画策定に向けた方針
【事業内容】 (1)松江市地域公共交通総合連携計画の評価 (2)現況把握 ・上位・関連計画の整理 ・各種統計データの整理 ・公共交通データの整理 ・ニーズ調査 (3)問題点・課題の整理 (4)松江市地域公共交通網形成計画の取りまとめ ・基本方針の検討 ・事業計画の検討 ・網形成計画の取りまとめ (5)協議会の開催 【結果概要】 (1)現行計画の評価として「目指そう値」及び「数値目標」を含め、すべての実施項目について検証・評価を行った。 (2)現況把握として、関連計画を洗い出し、整合性を図るとともに、ニーズ調査として、「市民10,000人アンケート」を実施し、ニーズ調査の把握を行った。このアンケートにおいて、各種施策に対する認知度や将来の利用可能性、満足度などニーズの指標となるデータが取れた。今後、地域別属性別にクロス集計を行い分析を行う。 (3)ニーズ調査や統計データから問題点・課題の洗い出しを行った。 (4)基本方針について、12月開催の第4回松江市公共交通利用促進市民会議において議論・検討を行い方向性が決定した。また、それぞれ項目ごとの事業計画についても議論を行った。引き続き事業計画の中身を検討していく。 (5)12月まで計4回会議を開催し、計画の素案を作成した。年度末までに当初の予定よりも1回追加開催し、計6回の協議会を経て網形成計画として最終的に取りまとめる。	A 計画通り事業は適切に実施された。	【網計画策定に向けた方針】 ・第2次計画の評価検証したうえで、公共交通を取り巻く状況や、ニーズ調査の結果を踏まえた追加・修正を行い、実施計画を再設定する。 ・「持続可能な公共交通」という視点を重視し、従来の基本方針大項目(協働・路線見直し・ダイヤ見直し・運賃見直し・利用促進)に「持続性確保」という大項目を追加し、中長期を見据えた路線バスやコミュニティバスの運行体制のあり方の検討を行う。 ・“網”計画にふさわしい他の交通モードとの連携について検討を行う。特に、地域が主体となった共助による移動手段の導入の可能性(例:自治会輸送)やタクシーなど他のモードの活用・連携について検討を行う。併せて、広域交通である空路、航路とも連携を図っていく。 ・本計画の策定に基づき、計画期間中(平成29年度～平成33年度)に検討を行い、できるだけ早い時期に「松江市地域公共交通再編実施計画」の策定を目指す。